

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	自動登録／入門演習 E2c (Introductory Seminars E2c)		
担当者名 (Instructor)	尾崎 名津子(OZAKI NATSUKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	JAL1310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

日本近現代文学を研究するための基礎となる考え方や方法を身につける。
論理的な文章を書く力や、口頭発表をする力を養うことも目的とする。

To acquire the basic ideas and methods for studying modern and contemporary Japanese literature.
This course also aims to develop the ability to write logically and to give oral presentations.

授業の内容(Course Contents)

第1回から第4回までは、文学作品を(読書感想文ではなく)研究の対象として読むための方法について、講義形式で説明する。
具体的には、文学テキストの分析方法、論文等文献の調査方法、発表資料の作成方法、口頭発表の方法である。
第5回以降は、履修者による発表と全体での討議を行う。

In the first through fourth sessions, we will use a lecture format to explain how to read literary works as objects of research (rather than book reports).

Specifically, how to analyze literary texts, how to research articles and other literature, how to prepare presentation materials, and how to make oral presentations.

In the fifth and subsequent sessions, students will make presentations and engage in general discussions.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 論文の調べ方、読み方
3. 発表資料の構成方法
4. 口頭発表とレポート作成の方法
5. 発表と討議 1
6. 発表と討議 2
7. 発表と討議 3
8. 発表と討議 4
9. 発表と討議 5
10. 発表と討議 6
11. 発表と討議 7
12. 発表と討議 8
13. 発表と討議 9
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

発表資料作成に充てる時間がこれに該当する。取り上げる作品に関する論文や同時代評、内容に関連する事項や、作家の伝記的事実の調査は、時間をかけるほどよい。調査を経たうえで、発表者自身がどういった問題提起や考察をするかについても、授業時間外での各自の取り組みが重要になる。

成績評価方法・基準(Evaluation)

発表と質疑応答の内容(30%) / 授業への積極的な参加(30%) / 最終レポート(Final Report)(40%)

テキスト(Textbooks)

1. 小平麻衣子、2019、『小説は、わかってくればおもしろい』、慶應義塾大学出版会 (ISBN:9784766425918)

参考文献(Readings)

授業内で適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

